

分野	都市整備	施策	土地利用			
分野計画名称	都市計画マスタープラン				行政経営戦略 参照ページ	P51
施策の展開（大項目）	1 都市防災					
KPI （指標）	狭隘道路の整備延長（累計）					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	事業進捗	0m	13m	13m	34m	850m
中項目	1 狭隘解消				分野計画参照ページ	P31
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績			分析・考察		
狭隘道路整備事業 建築課	・狭隘道路協議を52件(前年度比+10件)実施し、助成申請は5件(前年度比+5件)、交付は3件(前年度比+3件)あった。 ・個人住宅建築時の狭隘協議内容について精査し、狭隘道路の解消を進めるため、令和6年度から助成対象を市内全域に拡大する要綱の改正を実施した。			・市内全域へ助成対象を拡大したことの周知、狭隘道路解消の啓発を引続き実施し、開発事業者等への周知も継続して実施していく必要がある。		

分野	都市整備	施策	土地利用	
分野計画名称	都市計画マスタープラン		行政経営戦略 参照ページ	P51

施策の展開（大項目）	2 まちづくり（市街地整備）					
KPI （指標）	千里丘駅西地区のまちづくり					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	事業進捗	20.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%
KPI （指標）	阪急正雀駅前の歩道整備					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	事業進捗	50.0%	65.0%	65.0%	65.0%	100%

中項目	1 拠点整備		分野計画参照ページ	P32
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
千里丘駅西地区再開発事業 都市計画課	・既存建物等の解体工事が完了した。 ・特定建築者が施設建築物の建築工事に着手するとともに、市において道路工事等の公共施設工事を進めた。		・予定どおり進捗しており、令和7年度は引き続き特定建築者が建築工事を進めるとともに、市においては公共施設工事を進める。	
正雀南千里丘線外2路線（阪急正雀駅前）道路改良事業 道路交通課	・歩行者の利便増進を図るための用地を取得した。 ・道路用地確保に向けた専門家や関係機関等との協議、相談を行うとともに、権利者との交渉を実施した。		・歩行者利便増進道路用地は、駅前の快適な通行空間への活用を予定している。 ・道路用地の確保は、今後も専門家に相談し、課題解決方針を定めて用地交渉を進めていく。	

中項目	2 既成市街地整備		分野計画参照ページ	P32
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
都市景観事業 都市計画課	・都市景観形成地区内における行為届出5件(前年度比-1件)、大規模建築物等の建築行為届出36件(前年度比+23件)について、都市景観アドバイザーの意見も踏まえ、届出者に対し、建築物等に係る色彩等の指導・助言を行った。		・都市景観アドバイザーの意見に基づく指導・助言が反映され、都市景観の形成が図られているため、今後も引き続き、指導・助言を実施していく必要がある。	

分野	都市整備	施策	土地利用	
分野計画名称	都市計画マスタープラン		行政経営戦略 参照ページ	P51

施策の展開（大項目）	3 鳥飼まちづくりの推進			
------------	--------------	--	--	--

中項目	1 少子高齢化への適応		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
鳥飼まちづくりグランドデザイン 推進事業 政策推進課(鳥飼地区まちづくり担当)	鳥飼まちづくりグランドデザインで位置付ける居住性向上エリアB、企業と住民の共存発展エリア、田園(農業とのふれあい)エリアにおいてそれぞれ実施した住民説明会において、鳥飼東小学校の跡地活用に向けて、他市の小学校跡地活用事例の紹介等を通じて情報提供を行った。		鳥飼地域は少子高齢化の進展が著しく、市内の他地域と比較すると人口が大きく減少しており、地域のつながりも希薄化し、地域コミュニティの弱体化が課題となっている。鳥飼東小学校の跡地活用については、地域の方々が日常的に利用する地域コミュニティ拠点や地域外の人たちも訪れたい機能を加えた活用を検討していく必要がある。	

中項目	2 防災力の向上		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
鳥飼まちづくりグランドデザイン 推進事業 政策推進課(鳥飼地区まちづくり担当)	鳥飼まちづくりグランドデザインで位置付ける居住性向上エリアB、企業と住民の共存発展エリア、田園(農業とのふれあい)エリアにおいてそれぞれ実施した住民説明会において、鳥飼東小学校の跡地活用に向けて、他市の小学校跡地活用事例の紹介等を通じて情報提供を行った。		現在、鳥飼東小学校は、地震時は避難所、風水害時は緊急避難場所、また、鳥飼東小学校グランドは地震時の一時避難場所に指定されている。鳥飼東小学校の跡地活用については、地域内外の人たちが日常的に利用する機能を有しつつ、現在小学校が有している災害時機能維持を前提とした検討を行っていく必要がある。	
淀川河川防災ステーション等整備 促進事業 政策推進課(鳥飼地区まちづくり担当)	- 国と合同で河川防災ステーション事業地の地権者に用地交渉を行った。 - 国が行う河川防災ステーション整備の設計に際して、関連する道路整備や水路整備に調整が必要な各所管課を交えた協議を行った。 - 河川防災ステーション上部施設の災害時機能と建物規模について、河川防災ステーション専門チームで3回協議を行った。 - 淀川で開催されるイベントに会場されている方々にシール貼りアンケート形式で意見を伺った。		- 事業予定地の周辺住民は様々な不安を抱えているため、丁寧に意見聴取、情報提供を行い、不安の解消に努める必要がある。 - 引き続き国と合同で地権者の用地交渉や、河川防災ステーション設計に関する協議をしていく必要がある。 - 水防センターの災害時機能や規模については、引き続き、経済性や有効性についてもしっかりと議論を行い、最小の経費で最大の効果が得られる施設を検討していく。 - シール貼り形式で住民の意見聴取を行うことで、参加者との直接的なコミュニケーションができ、意見等をより具体的に理解することができた。	

中項目	3 コミュニティ活動の活性化		分野計画参照ページ	－
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
鳥飼まちづくりグランドデザイン 推進事業 政策推進課(鳥飼地区まちづくり担当)	・わいわいガヤガヤ祭では、市内事業者や商工会等の有志の協力のもと、まちづくり応援隊ブースにて、鳥飼まちづくりグランドデザインのPR及びワークショップを実施した。 ・万博6カ月前イベントである鳥飼ワン！ぱ〜く万博では市民の方々とイベントの企画・運営を行った。	・鳥飼地域のまちづくりに興味を持ち、一緒にまちづくりを進めていこうというコミュニティの形成が進んでいる。一過性のものではなく、コミュニティの参加者との持続的なつながりを作り、鳥飼地域の活性化に繋げていく必要がある。		

分野	都市整備	施策	道路・交通	
分野計画名称	都市計画マスタープラン		行政経営戦略 参照ページ	P53

施策の展開（大項目）	1 まちづくり（都市施設）					
KPI （指標）	交通事故件数					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	減少	346件	325件	341件	286件	288件
KPI （指標）	「摂津市は自家用車を利用しなくても移動しやすいまちだと思う」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	維持	30.4%(令和2年度)	35.6%	31.7%	24.7%	30.4%
KPI （指標）	自転車ネットワーク路線整備率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	増加	0%	20.1%	32.8%	38.6%	59.0%
KPI （指標）	阪急電鉄京都線(摂津市駅付近)連続立体交差事業					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	事業進捗	用地取得着手	用地取得推進	用地取得推進・準備工事	用地取得推進・準備工事	鉄道工事推進

中項目	1 道路整備・維持管理		分野計画参照ページ	P32
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
千里丘三島線道路改良事業 道路交通課	・三島まちかど広場から三島2丁目交差点付近までの用地測量を実施した。		・用地測量により、歩道整備に必要な用地の範囲が確定した。今後は建物調査などの関連業務を実施したうえで、道路用地の取得を進めていく。	
道路補修事業 道路管理課	・路面性状調査を踏まえた舗装修繕計画(個別施設計画)に基づき、新在家鳥飼上線等14路線、総延長2,294mの舗装修繕を実施した。		・計画どおり進捗しており、引き続き更新した舗装修繕計画に基づき、計画的に舗装修繕を推進していく。	

橋梁長寿命化修繕事業 道路管理課	・市内30橋について、法定の橋梁定期点検を実施した。	・計画どおり進捗しており、引き続き橋梁の長寿命化を推進していく。
街路灯修繕事業 道路管理課	・市内50基の街路灯点検を実施した。	・計画どおり進捗しており、引き続き計画的に街路灯の適正管理を推進していく。
交通安全対策事業 道路交通課	・点字誘導ブロック必要箇所1,171箇所のうち、1箇所の点字誘導ブロックを設置した。※進捗率：39.4%(前年度比+0.1%) ・通学路の安全対策必要箇所3箇所のうち、3箇所の工事を実施した。※進捗率：100% ・車両の速度抑制等の対策として、ハンプ設置工事を18箇所のうち、1箇所実施した。※進捗率27.7%(前年度比+5.5%)	・バリアフリー整備等の安全対策工事を着実に進めていく。 ・通学路等交通安全プログラムに基づき、整備を進めていく。 ・車両の速度抑制等の対策は、令和3年度から令和10年度において地元合意のもと計画的に進めていく。
交通安全推進事業 道路交通課	・路側線や速度抑制注意喚起などの路面標示を新設・復旧した。 ■実線1,672.0m ■破線662.7m ■文字901.1m	・摂津警察署や市内関係機関、市民からの情報提供など協働の取組により、路面標示の状況を効率的に把握し、速やかな更新を実施していく。

中項目	2 その他施設整備		分野計画参照ページ	P33
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
阪急京都線連続立体交差事業 連続立体交差推進課	・用地取得率が、面積ベースで約87%(前年度比+28%)となった。 ・仮設駅前広場の準備工事、味舌水路切替工事及び庄屋公園屋外拡声子局移設工事が完了した。 ・庄屋1号線付替道路整備工事を実施した。 ・庄屋公園支障移転工事に着手した。	・おおむね計画どおり進捗している。(大規模な用地を持つ権利者との用地交渉が完了したため、前年度から大きく伸びた) ・庄屋1号線付替道路整備工事については、当初令和6年度中に完了する予定であったが、道路工事の前に行う地下埋設物移設工事着手の調整に時間を要したため、令和7年4月30日に完了した。 ・鉄道仮線工事に向けた付替道路等の準備工事を進める。		

分野	都市整備	施策	道路・交通	
分野計画名称	都市計画マスタープラン		行政経営戦略 参照ページ	P53

施策の展開（大項目）	2 持続可能な公共交通体系の構築					
KPI (指標)	交通事故件数					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	減少	346件	325件	341件	286件	288件
KPI (指標)	「摂津市は自家用車を利用しなくても移動しやすいまちだ」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	維持	30.4%(令和2年度)	35.6%	31.7%	24.7%	30.4%
KPI (指標)	自転車ネットワーク路線整備率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	0%	20.1%	32.8%	38.6%	59.0%

中項目	1 交通利便性の維持		分野計画参照ページ	P34
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
公共交通確保維持事業 道路交通課	・近鉄バス(株)に、市内循環バス運行(平日12便)にかかる補助金を交付した。 ・阪急バス(株)に公共施設巡回バス運行を委託し、摂津市役所～ふれあいの里間で平日15便を運行した。 ・交通事業者、学識経験者、地域公共交通の利用者、国や府、警察署等の関係者で構成する地域公共交通協議会を4回、実務担当者等で構成する分科会を4回開催した。 ・協議会、分科会における多様な関係者との協議のもと、合意形成を図り、摂津市地域公共交通計画を策定した。		・市内循環バスの乗車数は、前年度比94.7%となり、897人減少した(1便あたりの平均乗車数は5.5人(前年度比△0.3人))。 ・公共施設巡回バスの乗車数は、前年度比116%となり、4,214人増加した(1便あたりの平均乗車数は8.7人(前年度比+1.1人))。 ・地域の交通事業者や公共交通利用者等の関係者と連携・協働を図りながら、計画に位置付けた施策を進めていく。	
交通安全対策事業 道路交通課	・矢羽根型路面標示の整備計画延長23.7kmのうち、1.3kmの工事を実施した。 ※進捗率：38.6%(前年度比+5.8%)		・摂津市自転車活用推進計画に基づき着実に整備を進めていく。	

自転車自動車駐車場管理事業 道路交通課	・鉄道駅の利用時にスムーズに自転車を停められるように、千里丘駅東自転車駐車場の原動機付き自転車枠を、より需要の高い自転車枠に転用した。(原動機付自転車40枠→自転車枠42枠に転用)	・指定管理者と毎月協議を続ける中で、自転車の利用に対する需要が高いことが判明し、転用元に影響のない範囲で行った。今後も適宜、利用しやすい駐車場管理を進めていく。
正雀南千里丘線外2路線（阪急正雀駅前）道路改良事業 道路交通課	・歩行者の利便増進を図るための用地を取得した。 ・道路用地確保に向けた専門家や関係機関等との協議、相談を行うとともに、権利者との交渉を実施した。	・歩行者利便増進道路用地は、駅前の快適な通行空間への活用を予定している。 ・道路用地の確保は、今後も専門家に相談し、課題解決方針を定めて用地交渉を進めていく。
千里丘三島線道路改良事業 道路交通課	・三島まちかど広場から三島2丁目交差点付近までの用地測量を実施した。	・用地測量により、歩道整備に必要な用地の範囲が確定した。今後は建物調査などの関連業務を実施したうえで、道路用地の取得を進めていく。
交通安全推進事業 道路交通課	・路側線や速度抑制注意喚起などの路面標示を新設・復旧した。 ■実線1,672.0m ■破線662.7m ■文字901.1m	・摂津警察署や市内関係機関、市民からの情報提供など協働の取組により、路面標示の状況を効率的に把握し、速やかな更新を実施していく。
違法駐車追放事業 道路交通課	・違法駐車等防止重点地域(阪急正雀駅前・JR千里丘駅前周辺)の路上駐車車両に交通指導員による啓発活動を実施した(活動日数:176日、啓発ちらし貼付:753枚、警告ステッカー貼付:431枚、通報:1件)。 ・重点地域以外においてもめいわく駐車等防止啓発指導員による広報車での広報及びステッカー貼付による防止啓発を実施した。	・違法駐車等防止重点地域における啓発ちらしや警告ステッカーの貼付件数は昨年度と横ばいである。 ・道路交環環境の整備や交通事故の減少につなげていくために、継続して啓発活動を行っていく。
放置自転車等対策事業 道路交通課	・放置自転車等管理システムを構築し、保管事務の効率化を図った。 ・放置自転車禁止区域での放置自転車等を移動保管(379件:前年度比△102件)するとともに、対策指導員による巡回活動を359日(前年度比±0日)実施した(警告札7,761枚貼付)。	・システム構築により効率的な保管業務が実現し、管理事務所の運営にかかる人員削減により経費圧縮を図った。 ・放置自転車等の台数は、昨年度に比べ大幅に減少し直近5年間でも減少傾向にある。引き続き、移動保管及び巡回活動を実施する。
交通安全啓発事業 道路交通課	・高齢者や小中学生、園児を対象とした交通安全教室を58回(前年度比+18回)開催し、3,223人(前年度比△213人)が参加した。 ・高齢者を対象とした免許証自主返納サポート制度の一環として、反射材付きジャンパーを74人(前年度比△74人)に配布した。 ・交通安全リーフレットや交通安全啓発品の配布、交通安全教室等の活動のほか、交差点等において、歩行者や自転車利用者に対し、定期的に交通指導を実施した(月1〜2回程度)。 ・春、秋の全国交通安全運動期間や、11月の自転車マナーアップ強化月間等に交通安全の啓発活動を行った。 ・自転車のながら運転及び酒気帯び運転の罰則強化に関する改正道路交通法の施行(令和6年11月1日)に合わせ、市内主要駅構内で街頭啓発活動を行った。 ・公民館等における高齢者の活動の際に、交通安全啓発ちらしを用いて交通ルールを周知した。	・交通事故件数は286件(前年度比△55件)、死者数は0人(前年度比△1人)に減少したが、高齢者関連事故が30.8%(前年度比+4.7%)、自転車関連事故が36%(前年度比+2%)の割合で推移しているため、引き続き、高齢者・自転車利用者を対象とした交通安全啓発の取組が必要である。 ・引き続き、年齢や交通手段に応じた交通安全教室や、自転車のながら運転及び酒気帯び運転の罰則強化についての周知等啓発活動により、交通安全意識の向上を図る。

鳥飼まちづくりグランドデザイン 推進事業 政策推進課(鳥飼地区まちづくり担当)	・摂津市地域公共交通協議会において、鳥飼まちづくりグランドデザインの利用しやすい公共交通の実現に向けて委員として出席し、鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会で聴取した住民意見の共有を図った。	・公共交通は、鳥飼地域だけでなく市全体を対象に検討していく必要があるため、引き続き摂津市地域公共交通協議会にて利用しやすい公共交通の整備に向けた検討を進める。
---	--	--